

つ・な・ぶ

<No.6>

平成24年1月23日

*校訓；「本気」 *学校教育目標；「心の豊かな子」・「生き生きと学ぶ子」・「はつらつと健康な子」

三島立東小学校長 渡辺 輝彦

これからも、「伝え合う力」の育成を……

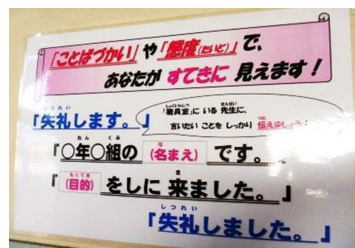


報告が遅れてしまいましたが、昨年(金)の12月2日、本校にて、「三島市教育委員会指定・研究発表会」が開催されました。22年度・23年度の2年間の研究成果を、市内の全ての幼稚園・小中学校の教職員を対象に発表する場です。教育委員会や市議会(福祉教育委員会)からの来賓の皆様を始めとして、総勢90人近い方々が来校されました。

この2年間、本校では、<進んでかわり、互いに高め合う子の育成～伝え合う力を高める授業づくり～>をテーマに掲げ、全教職員が一丸となって研修を積んでまいりました。

今回の発表会では、今までの実践を紹介すると同時に、その成果として、授業での子どもたちの活動の様子を見ていただくことにしました。

子どもたちの「伝え合う力(コミュニケーション能力)」を高めるには、授業だけでなく、「学校の言語環境」を整えたり、「家庭の教育力」を有効に生かしていただいたりすることが基盤になると考えました。



- * コミュニケーションの基本となる「心をつなぐ言葉」を子どもたちから聞き取り、「言われるとうれしくなる言葉」・「言われると嫌な気持ちになる言葉」を提示。
- * 時と場に応じた言葉遣いができるようになることをねらい、「職員室に入る時に使う言葉」を提示。

- * 保健室からは、「からだの様子を伝える言葉」を具体的に提示。
- * 「あいさつの達人になろう」と、生活指導部の教職員主催の集会を開き、子どもたちを前に劇を公演。



また、「家庭の教育力」を有効に生かしていくために、元・東小学校長の「鈴木愛子先生」を講師としてお招きし、「家庭で育む『言葉の力』」という演題での「保護者講演会」も行われました。



これには100人近い保護者が参加され、熱心にメモをとりながらお話に聞き入っていました。参加された皆様は、愛子先生のお話にあったとおり、<上手な聞き手>として、きっと家庭で素敵な「女優」を演じていらっしゃるでしょう。

また、お子さんと一緒に<新聞>に目を向ける時間を設け、記事の内容についての互いの思いを伝え合うような試みを行っているご家庭も現れたかもしれません。

こうして、「学校の言語環境」を整えたり「家庭の教育力」に支えられたりしながら、私たちは「授業」を通して子どもたちの「伝え合う力(コミュニケーション能力)」を高めることに全力を注ぎました。

「どうしたら、一人ひとりの子どもたちが、自分の考えを確実に持つのだろう。」

「その自分の考えを、自信を持って友達と伝え合うようにするにはどうしたらよいのだろう。」

「しっかり伝え合うためには、声の大きさや話型の指導も必要になるのではないか。」

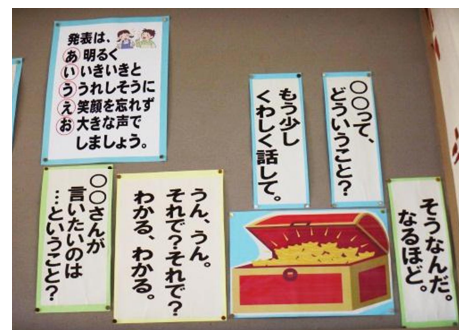
「友達の意見に対して、自分の思いを真っ直ぐにぶつけられる方法はないだろうか。」

「授業の中での伝え合いを活発にするためには、二者択一の問題を与えるるとよいかもしいない。」

「一人ひとりが自分の思いを友達に伝えたくて仕方ないというような問題を投げ掛けたい。」

……次々と生じてくる課題を解決しようと、何人も教師が授業を公開し、様々な手立てを提案し合いました。

そして、各教室の壁には、子どもたちの学習姿勢を支える手立てとして、「ハンドサイン」・「声のものさし」・「心をつなぎ合う言葉」などが掲示されていきました



さらに、私たちの取組の価値を確認するために、創価大学教職大学院の准教授「石丸憲一先生」をお招きして、授業を見せていただいたり、夏休みには研修会を開いたりする場も設けました。

学習指導法を専門的に研究されていらっしゃる先生ですので、私たちの気づかなかった点や改善点等を浮き彫りにしてくださり、大きな刺激を受けました。また、私たちのここまでの取組の価値を認めていただいたことも、大きな自信へとつながりました。

(他にも、県の東部地区担当の指導主事、三島市教育委員会の指導主事にも声をかけ、校内の研修会に参加していただきました。)



発表会は、参加された幼稚園・小中学校の先生方、教育委員会や市議会からの来賓の皆様からは、「公開された授業の中でのびのびと活躍する子どもたちの姿に、2年間の研究成果が見えた」・「一人ひとりの子どもたちが、授業に生き生きと参加している」・「先生方が授業づくりを楽しんでいる」・「東小での取組を、さっそく自分の学校でも試してみたい」等々、たくさんのありがたいおほめの言葉をいただきました。

——この2年間の研修で得られたものを東小の“宝物”として、これからも子どもたちのよりよい育成に生かしていきたいと考えています。

(なお、発表会当日に、受付を担当してくださった「PTA役員」の皆様、駐車場への車の案内や誘導に携わってくださった「スクールガード」の皆様にも、この場をお借りして、改めてお礼申し上げます。)

< 今回も、「学校の見えにくい部分」を皆様にご覧いただきたいという意図で書かせていただきました。 >

さて、今年度は、子どもたちの教育活動をお知らせする「学校だより『本気』」に加え、この「連携だより『つなぐ』」を発行しています。『本気』の紙面に載せきれない子どもたちの活躍や、親御さん・地域の皆様の教育活動への前向きな参画についてお知らせし、家庭・地域との連携をさらに強めていきたいと考えています。

なお、皆様は、「東小学校のブログ(ホームページ)」を御覧になったことがありますか？ できる限りタイムリーに発信しようと、こまめに更新していくよう努めています。インターネットで、「三島市立東小ブログ」と検索するだけで見られます。関心のある方はのぞいてみてください。